



新しい時代の変化に対応し、未来を拓く！

令和8年(午年)がスタートしました。午年は、飛躍や前進、情熱や変化が象徴される年であり、馬の持つ俊敏さや行動から、目標達成や成長を期待できるともいわれています。「何事もウマく いく年」になることを願っています。

次期学習指導要領を見据えて、「多様性の包摂」「探究的な学び」「情報活用能力の抜本的向上」等のキーワードが話題となっています。特に情報活用能力については、小学校では、総合的な学習の時間に「情報の領域(仮)」の付加、中学校では、「情報・技術科(仮)」を創設する方向性が示されています。また、R8 学力向上推進本部会議からの提言では、提言1に「子供の姿に基づく授業改善の推進」が位置づけられました。他者と関わりながら、問いをもち、課題の解決に向かう力を育成することが求められています。教育研究所も、新しい時代を創る子供たちに必要な資質・能力は何か、国や県の動向を注視しながら、研修内容に取り入れていきたいと考えております。



特活主任研～小中学校4校の実践発表・・・12/10

特別活動は「集団や社会の形成者」としての見方・考え方を大切にしています。「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点が相互に関わり合っ、資質・能力が育成されます。



《発表内容》

- ①データで考える、よりよい学校づくり(当山小:委員会)
- ②年間を通した異年齢交流(宮城小:異年齢集団交流)
- ③学級活動(1)の実践 (浦添中:学級活動)
- ④生徒会、団活動の取組 (浦西中:生徒会活動)

どの実践も、特別活動が目指している「自発的・自治的な活動」でした。自分たちでよりよい生活を作っていく「自治的能力」の高まりを感じました。

▲事前アンケートからの課題 → R8 へ向けての改善を

- 小学校: 4月からの5,6年委員会活動のスタート
- 中学校:学級活動(1)の確実な実施 ※小中連携学習過程(事前、本時、事後)、議題選定

★R7年度 ICT 活用事例集 ～好事例の共有～

昨年度から、「小中学校ICT支援訪問」を実施し、授業における好事例の共有や課題解決のための提案等、各学校へフィードバックを行っています。今年度は15校の支援訪問を終え、小学校低・中・高、中学校、特別支援学級毎の授業実践、掲示物や授業以外での活用方法を事例集にまとめました。ロイロノートの効果的な活用やグループ学習における共有ノートの活用、プレゼンテーションの作成等、児童生徒が学習端末を上手に使いこなして、主体的に学習に取り組んでいる様子が伺えました。この事例集は、教育研究所HPやロイロ資料箱に掲載されていますので、是非、御活用ください。

冬期講座の感想・・・12/26(金)

【浦添市の歴史探訪】

・浦添市にも素晴らしい歴史と文化があることを子供たちに伝えていきたい。

【生成 AI】

・生成 AI を利用している児童生徒が想像以上に多く、活用のガイドラインを教師が理解し指導する必要性を感じた。活用の幅が広いため、上手く活用することで作業が効率的になる。

【その他】

・冬期講座は、夏期講座と違い、もっと深めたいと考えている人に貴重、今後も夏期講座からの接続した内容やレベルが上がった内容を期待している。先生方が参加しやすいように各学校の行事等を調整する必要があると思う。



浦添市立
教育研究所
Web ページ



※研究所の業務内容の周知や共通理解のために、所報(奇数月)を発行しますので回覧をお願いします。